

盛岡みたけ支援学校

研究テーマ

「児童生徒が力を発揮し、
自ら進んで学びに向かう授業づくり」
～学部間のつながりを意識した授業改善の
取り組みを通して～（2年研究2年次）

1 全校研究

(1) 主題設定の理由

学校教育目標「一人一人が輝く存在として、主体的に生きられるよう社会的自立を支援する」の達成に向けて、日々の授業でも児童生徒が自ら進んで学びに向かう姿を実現させていく。また、学年・学部間を越えて相互に意見を出し合いながら授業改善に取り組み、成果を共有することで学校全体の授業力向上に資する。

(2) 研究内容・方法

次の授業で主題に迫る授業改善を行う。

小学部：遊びの指導、生活単元学習
自立活動

中学部：作業学習 高等部：作業学習

次の取り組みを通して「力を発揮し、自ら進んで学びに向かう」姿を実現させる。

- ・授業参観週間や学部合同の研究会の実施
- ・授業改善のPDCAサイクルを確立すると共に、「力を発揮する」「進んで学びに向かう」ために有効な手だてや成果を共有する。

(3) 研究仮説

授業づくりにおいて、広く校内の意見を取り入れながら段階に応じた指導を深化させ、共通の視点・方法で授業改善を行うことで、児童生徒が「力を発揮し、自ら進んで学びに向かう」姿が実現されるであろう。

(4) 全校研究会・授業研究会

①第1回全校研究会 5月9日(木)

今年度の研究についての提案・協議

②全校授業研究会 11月28日(木)

中学部作業学習 生産班

「ポップコーンの栽培、加工」

研究会では「喜びや意欲を感じられる」「力を存分に発揮する」「役割や仕事に一生懸命取り組む」ための指導の在り方をグループで協議し、授業の改善案を発表し合った。

③第2回全校研究会 2月6日(木)

2年次研究のまとめと次期研究内容の協議

2 各学部の取り組み

(1) 小学部

- ・キャリア教育全体計画とのつながりの確認
- ・授業改善検討会の実施(計7授業)

(2) 中学部

- ・キャリア教育の小学部とのつながりの確認
- ・高等部との合同研究会の実施
- ・授業研究会の実施(計4授業)

(3) 高等部

- ・作業学習における大切にすべき事項「みたけスタンダード」に沿った授業づくり
- ・中学部との合同研究会の実施
- ・授業研究会の実施(計3授業)

3 講演会

演 題：「児童生徒のキャリア発達を支援、主体的に学びを深める授業づくり」

講 師：植草学園大学 発達教育学部
准教授 菊地 一文 氏

期 日：令和元年7月31日(火)

参加者：83名

4 研修会

(1) 校内研修

①諸検査学習会 7月26日(金)

- ・田中ビネー知能検査V
- ・津守・稲毛式乳幼児精神発達診断法
- ・S-M 社会生活能力検査

②職員研修の日 7月29日(月)

- ・紙すき、ユニバーサルホッケー、アイススケートの研修
- ・新設校や福祉事業所の見学

③校内タブレット講習会(計3回)

(2) 校外研修

①宮城教育大学附属特別支援学校公開

②岩手大学教育学部附属特別支援学校公開

(3) 研修報告会 2月19日(水)

5 授業公開

第61回岩手県特別支援教育研究大会岩手地区大会

第3分科会(作業学習)：教諭 齊藤 瑞希
教諭 山本 洋司

第4分科会(自立活動)：教諭 吉田 諒

6 刊行物

研究集録第34集 令和2年3月発行予定